

平成 25 年度（第 50 期事業年度） 事業報告書

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

I. 事業状況

1. 助成事業

(1) 酵素研究助成事業

「酵素の応用研究」及び「生命科学に関連する酵素の研究」を助成対象として募集を行った。応募総数 88 件の中から選考委員会（酵素研究助成）の選考を経て、研究助成 A（1 件 100 万円）を 15 件、研究助成 B（1 件 50 万円）を 15 件採用し、総額 2,250 万円の研究助成金を交付した。（別紙 1）

また日本応用糖質科学会の開催する糖質関連酵素化学シンポジウムに対し 30 万円を助成した。

平成 26 年度と同研究助成に関する公募を行った結果 95 件の応募があり、選考委員会（酵素研究助成）に選考を依頼した。

(2) 若手研究助成事業

下記の各々の領域で 40 歳以下の若手研究者を助成対象として研究課題を募集し、選考のうえ、下記のとおり研究助成金を交付した。

- ・成人病の病因・病態の解明に関する研究助成 1,475 万円

新規助成対象者の公募を平成 25 年 3 月に行った。応募総数 17 件の中から、選考委員会（成人病の病因・病態の解明に関する研究助成）による選考の結果 13 名を決定した。研究業績評価の審査の結果、継続助成者を含む対象者 47 名に研究助成金を交付した。（別紙 2）

- ・Vascular Biology Innovation に関する研究助成 1,050 万円

新規助成対象者の公募を 4 月に行った。応募総数 6 件の中から選考委員会（Vascular Biology Innovation に関する研究助成）による選考の結果 5 名を決定した。研究業績評価の審査の結果、継続助成者を含む対象者 22 名に研究助成金を交付した。（別紙 3）

- ・全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成 1,000 万円

本年度助成対象者の公募を 5～6 月に行った。応募総数 19 件の中から、選考委員会（全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成）による選考の結果 10 名を決定し、研究助成金を交付した。（別紙 4）

- ・Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成 1,300 万円

新規助成対象者の公募を平成 25 年 3～4 月に行った。応募総数 12 件について選考委員会（Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成）による選考の結果 12 名を決定した。研究業績評価の審査の結果、継続助成者を含む対象者 26 名に研究助成金を交付した。（別紙 5）

2. 研究発表会の開催

(1) 酵素研究助成事業関連

「酵素の応用研究、および生命科学に関連する酵素の研究」第 39 回研究発表会

平成 25 年 11 月 18 日（月）、ホテル阪急インターナショナルにて開催した。

一般演題 28 題、参加者 68 名

(2) 若手研究助成事業関連

「成人病の病因・病態の解明に関する研究助成」第 19 回研究発表会

平成 25 年 7 月 6 日（土）、7 日（日）、セントレジスホテル大阪にて開催した。

一般演題 7 題、ポスターセッション 16 題、卒業発表 10 題、トピックス 2 題、特別講演 2 題、参加者 96 名

「Vascular Biology Innovation に関する研究助成」第 8 回研究発表会

平成 25 年 8 月 17 日（土）、18 日（日）、ホテル椿山荘東京にて開催した。

一般演題 18 題、特別講演 1 題、参加者 78 名

「全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成」第 3 回研究発表会

平成 26 年 1 月 25 日（土）、霞山会館にて開催した。

一般演題 7 題、特別講演 1 題、参加者 55 名

「Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成」第 2 回研究発表会

平成 25 年 7 月 20 日（土）、21 日（日）、ホテル椿山荘東京にて開催した。

一般演題 16 題、特別講演 1 題、参加者 88 名

3. 最近における酵素研究情報の収集及び日本応用酵素協会誌の刊行

日本応用酵素協会誌 No. 48（2013）を平成 26 年 3 月に刊行し、国公立大学の図書館および関係研究機関にそれぞれ配布した。その主な内容は次のとおりである。

<総説>

- ・クリプトコッカス症原因菌における糖脂質の代謝・品質管理機構の解明（伊東 信、石橋 洋平）
- ・最近明らかになってきたジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの制御する生理機能・病態形成と基質の多様性（坂根 郁夫）
- ・嗅粘液中に含まれる酵素が匂い知覚に与える影響に関する研究（永嶋 鮎美、東原 和成）
- ・チロシンキナーゼ活性に依存しないチロシンキナーゼ型受容体の機能（櫻井 宏明）

<平成 25 年度研究報告>

- | | |
|--|------|
| ・酵素の応用研究および生命科学に関する酵素の研究 | 30 件 |
| ・成人病の病因・病態の解明に関する研究助成 | 54 件 |
| ・Vascular Biology Innovation に関する研究助成 | 23 件 |
| ・全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成 | 7 件 |
| ・Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成 | 27 件 |

<酵素情報>

- ・グレリンの活性化を調節する酵素 GOAT (ghrelin O-acyltransferase)
- ・マクロファージメタロエラスターゼと炎症性肺疾患
- ・cGMP-dependent protein kinase (cGK, PKG, PRKG) 2

Ⅱ. 運 営 状 況

1. 理事会・評議員会等

<平成 25 年度 第 1 回理事会 平成 25 年 5 月 23 日 (木) >

I. 決議事項

第 1 号議案 平成 24 年度 (第 49 期事業年度) 計算書類等及び財産目録の承認の件

第 2 号議案 理事の任期満了に伴う改選の件

第 3 号議案 名誉理事選任の件

第 4 号議案 定時評議員会開催の件

日時：平成 25 年 6 月 10 日 (月)、場所：ホテルグランヴィア大阪

決議事項

第 1 号議案 平成 24 年度 (第 49 期事業年度) 計算書類及び財産目録
の承認の件

第 2 号議案 理事選任の件

報告事項 平成 24 年度 (第 49 期事業年度) 事業報告の件

Ⅱ. 報告事項

(1) 職務執行状況の報告

(2) 設立 50 周年記念事業の件

(3) その他

<平成 25 年度 定時評議員会 平成 25 年 6 月 10 日 (月) >

I. 決議事項

第 1 号議案 平成 24 年度 (第 49 期事業年度) 計算書類及び財産目録の承認の件

第 2 号議案 理事選任の件

Ⅱ. 報告事項

(1) 平成 24 年度 (第 49 期事業年度) 事業報告の件

(2) その他報告事項

<平成 25 年度 第 2 回理事会 平成 25 年 6 月 19 日 (水) > 決議の省略により実施

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

・代表理事、業務執行理事の選定の件

<平成 25 年度 第 3 回理事会 平成 25 年 11 月 26 日 (火) >

I. 決議事項

第 1 号議案 平成 26 年度事業計画書 (案) 承認の件

第 2 号議案 選考委員選任の件

第 3 号議案 顧問・名誉理事・諮問委員選任の件

Ⅱ. 報告事項

(1) 職務執行状況の報告

(2) 財団設立 50 周年記念行事 (案) について

(3) その他

<平成 25 年度 第 4 回理事会 平成 26 年 2 月 6 日 (木) >

I. 決議事項

第 1 号議案 平成 26 年度収支予算書 (案) 承認の件

第 2 号議案 内部諸規程 (案) 承認の件

理事会運営規則 (改訂案)

研究助成金交付規程 (改訂案)

研究助成選考要領 (改訂案)

謝金規程 (改訂案)

II. 報告事項

(1) 職務執行状況の報告

(2) その他

- ・財団設立 50 周年記念式典について
- ・役員報酬の税務処理の変更について
- ・今後のスケジュール

2. 人 事 (五十音順、敬称略)

理 事 8 名再任 (平成 25 年 6 月 10 日)
大水 博、坂野 仁、土屋 裕弘、中尾 一和、中村 研三、波田 壽一、
葉山 夏樹、福井 清
定年に伴い 2 名退任 (平成 25 年 6 月 10 日)
田中 渥夫、山崎 信行
3 名就任 (平成 25 年 6 月 10 日)
門脇 孝、日比 紀文、藤田 敏郎

監 事 異動なし

評議員 異動なし

評議員選定員 異動なし

顧問 異動なし

名誉理事 2 名就任 (平成 25 年 6 月 10 日)
田中 渥夫、山崎 信行
定年に伴い 2 名退任 (平成 26 年 3 月 31 日)
松尾 壽之、山田 秀明

諮問委員 理事に選任されたため 1 名退任 (平成 25 年 6 月 10 日)
日比 紀文
定年に伴い 2 名退任 (平成 26 年 3 月 31 日)
荻原 俊男、森田 隆司

平成 25 年度 (第 50 期事業年度) 末における理事・監事・評議員・評議員選定委員・顧問・名誉理事・諮問委員の構成は下記のとおりであった。

理 事	11 名	監 事	2 名	評 議 員	7 名	評議員選定委員	2 名
顧 問	4 名	名誉理事	18 名	諮問委員	27 名		

平成25年度 酵素研究助成事業

酵素の応用研究および生命科学に関連する酵素の研究

研究助成A 15件 (1件100万円)

(五十音順 敬称略 申請時所属)

氏名	所属	研究題目
井上 正宏	大阪府立病院機構	低酸素環境下において癌細胞に休眠状態を誘導する酵素群に関する研究
上田 夏生	香川大学医学部	新規リン脂質代謝酵素群PLA/ATファミリーの生理機能解析
小川 順	京都大学大学院農学研究科	新規アミノ酸水酸化酵素群の機能解析と生理活性アミノ酸合成への応用
神戸 大朋	京都大学大学院生命科学研究科	がん細胞の生存・増殖・転移に関与する亜鉛要求性酵素の活性化機構
仲矢 道雄	九州大学薬学研究院	GRK6の基質同定とその分子機能解析
野尻 正樹	大阪大学大学院理学研究科	鉄硫黄クラスターを持つ新奇なアルコール脱水素酵素の構造解析
花田 俊勝	京都大学大学院医学研究科	RNAキナーゼCLP1およびNOL9の生体内機能解析および病態との関連
濱野 吉十	福井県立大学生物資源学部	ストレプトスリシン生合成酵素を利用した生理活性分子の β リジンペプチド化
福井 清	徳島大学疾患酵素学研究センター	D-アミノ酸代謝システムをターゲットとした医学応用酵素学研究
藤森 功	大阪薬科大学薬学部	脂質代謝疾患における極長鎖脂肪酸合成酵素Elov13の機能解析
二井 勇人	東北大学大学院農学研究科	膜内切断プロテアーゼによるタンパク質分解の制御機構の解明
丸茂 丈史	東京大学先端科学技術研究センター	糖尿病による腎障害に関わるヒストン修飾酵素異常の解明
吉岡 和晃	金沢大学医薬保健研究域医学系	脂質キナーゼPI3K-C2a酵素の血管恒常性維持機構の解明
吉田 清嗣	東京慈恵会医科大学	がん抑制因子としての新規DYRK2リン酸化シグナル経路の解析
吉村 徹	名古屋大学大学院生命農学研究科	特異的代謝酵素をツールとしたD-アミノ酸生理機能の解析

平成25年度 酵素研究助成事業
 酵素の応用研究および生命科学に関連する酵素の研究
 研究助成B 15件 (1件50万円)

(五十音順 敬称略 申請時所属)

氏名	所属	研究題目
天知 誠吾	千葉大学大学院園芸学研究科	細菌由来マルチ銅オキシダーゼを用いた新たなヨウ素系環境殺菌剤の開発
生城 浩子	大阪医科大学医学部	病原性真菌におけるスフィンゴ脂質様マイコトキシン合成酵素に関する研究
市来 俊弘	九州大学大学院医学研究院	マイクログリアにおける低酸素応答系が交感神経機能および心血管疾患の進展において果たす役割の解析
植田 充美	京都大学大学院農学研究科	分子ディスプレイ法による強毒性鳥インフルエンザウイルスのノイラミニダーゼの変異のハイスループットな作製と阻害剤高速スクリーニング
岡 崇史	大阪大学大学院医学系研究科	Deoxyribonuclease IIを用いた心不全治療戦略
河合 克宏	理化学研究所脳科学総合研究センター	IIRBITによるCaMKII α 酵素活性制御機構の解明および神経可塑性における機能解析
川畑 俊一郎	九州大学大学院理学研究院	架橋酵素を介した腸管上皮細胞の情報伝達制御と腸内細菌叢の維持機構
栗原 達夫	京都大学化学研究所	高度不飽和脂肪酸による生体膜マイクロドメイン形成とタンパク質機能制御
河内 全	愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所	炎症誘導時のマイクログリアにおけるモノアシルグリセロールリパーゼの生理的役割
児島 将康	久留米大学分子生命科学研究所	摂食亢進ペプチド “グレリン” の活性化に必要な脂肪酸転移酵素の結晶構造解析
佐藤 智信	北海道大学大学院医学研究科	新規PKC 阻害因子TRIM45 によるがん細胞増殖抑制機構の解明
高木 智久	京都府立医科大学	大腸炎症病態における抗酸化酵素Peroxiredoxin-4の役割に関する検討
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院	脂肪酸 β -酸化活性依存的なペルオキシソームの形態形成調節機構の解明
森田 洋行	富山大学和漢医薬学総合	植物ポリケタイド合成酵素のアミノ酸欠損/導入変異によるあらたな酵素触媒機能の開拓
山田 浩司	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	ダイナミンGTPaseによるアクチン制御とがん細胞の浸潤における役割

平成25年度 若手研究助成事業
成人病の病因・病態の解明に関する研究助成
47件 総額 1,475万円

(五十音順 敬称略 申請時所属)

申請者	所属	研究課題
浅原 俊一郎	神戸大学大学院医学研究科	2型糖尿病候補遺伝子Kcnq1遺伝子領域が膵β細胞に及ぼす影響の解析
池田 華子	京都大学大学院医学系研究科	高眼圧緑内障モデルマウスにおけるVCP阻害剤による網膜神経節細胞保護効果の検討
伊藤 敬一	東京慈恵会医科大学	ヒト心房における組織トロンビンの免疫組織学的検討
伊藤 美智子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	肝Crown-like structureのNASH発症・進展における意義
稲垣 兼一	岡山大学病院内分泌センター	女性生殖内分泌における卵巣局所因子BMPの作用
今村 博臣	京都大学白眉センター	蛍光ATPバイオセンサーを用いたインスリン分泌細胞内ATPのダイナミクスの計測
内田 治仁	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	腹部大動脈瘤の発症進展におけるICAM-1の果たす役割についての検討
浦山 恭次	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科	細胞内エネルギー代謝調節による心筋梗塞に対する新規治療法の開発
宇留野 晃	東北大学大学院医学系研究科	Keap1-Nrf2システムによる膵β細胞保護作用
大石 由美子	東京医科歯科大学難治疾患研究所	脂肪酸の合成制御によるマクロファージの自律的炎症収束機構
河合 達男	大阪大学大学院医学系研究科	新規老化促進メカニズムの解明と治療応用の検討
岸 拓弥	九州大学大学院医学研究院	難治性心不全を克服するバイオニック自律神経制御システム
日下部 徹	京都大学大学院医学研究科	糖尿病を対象としたレプチンの臨床応用
工藤 正孝	東北大学病院	～NicotineおよびGLP-1受容体アゴニストの冠動脈血管内皮細胞の遺伝子発現に及ぼす影響の検討～
栗本 一基	京都大学大学院医学研究科	微量ChIP-seq法の開発と応用：始原生殖細胞のエピゲノム動態解明
栗原 孝成	京都大学大学院医学研究科	腎疾患進展に自然炎症シグナルが果たす役割の検討
小松 雅明	東京都医学総合研究所	オートファジーとKeap1-Nrf2制御系の接点：その生理的意義と病態生理
酒井 真志人	国立国際医療研究センター	ヒストンアセチル化酵素GCN5による肝臓の糖新生調節機構の解明
坂口 昌徳	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構	脳内における記憶情報の転送機構の解明
杉山 徹	武蔵野赤十字病院	硫化水素による血管内皮細胞での血管新生促進作用
洲崎 悦生	理化学研究所	全組織レベルの高速な遺伝子発現解析を目指す組織透明化技術の開発
住田 智一	東京大学大学院医学系研究科	動脈リモデリングにおけるWntシグナルの重要性

園山 拓洋	京都大学医学部附属病院	視床下部器官培養系を用いた栄養応答性食欲制御の評価
染川 智	奈良県立医科大学	新規小胞体膜蛋白の動脈化および肺高血圧症における意義の解明
田浦 大輔	京都大学大学院医学研究科	ヒトES/iPS細胞からの血管細胞分化誘導および血管生理機構解明への応用
高田 智夫	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	ゼブラフィッシュの心臓再生における細胞老化の役割
高橋 和利	京都大学iPS細胞研究所	分化多能性再獲得の分子機構
鷹見 洋一	大阪大学大学院医学系研究科	パーキンソン病関連分子 α シヌクレインの液性生理活性分子としての新規機能—加齢性疾患としてのメタボリック症候群及びその心血管合併症での病態生理的意義の検討—
武田 憲文	東京大学医学部附属病院	腸管と毛包でのHox, Lgr5陽性幹細胞の相違と関連
竹田 征治	奈良県立医科大学	新規動脈硬化抑制因子である可溶性Flt-1によるCKD関連動脈硬化症の抑制効果に関する検討
田中 智洋	京都大学大学院医学研究科	β Klothoによる血清脂質と体重の制御
土屋 恭一郎	東京医科歯科大学医学部附属病院	血管内皮細胞における摂食応答性新規生理活性物質の探索と機能解析
中尾 一泰	京都大学大学院医学研究科	血管壁ナトリウム利尿ペプチド系の意義の解明—血管内皮細胞特異的C型ナトリウム利尿ペプチド (CNP) ノックアウトマウスの解析—
中尾 一祐	京都大学大学院医学研究科	内軟骨骨化におけるCNP/GC-B系の生理的意義
中西 祐貴	京都大学PS細胞研究所	Dclklは腸管の腫瘍幹細胞と正常組織幹細胞を区別する
名越 智古	東京慈恵会医科大学	心疾患におけるコルチコステロイドによる電解質・糖代謝制御機構の解明
西村 智	東京大学大学院医学系研究科	生体分子イメージングでみる生活習慣病における免疫・炎症細胞のクロストーク
野口 倫生	京都大学大学院医学研究科	ヒトiPS細胞由来脂肪細胞の分化誘導及び細胞移植
野尻 崇	国立循環器病研究センター研究所	ANPの血管保護作用を応用した新しい癌転移予防法の基盤確立
林 悠	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構	レム睡眠が老化や成人病発症に及ぼす効果の解明
東邦 康智	東京大学大学院医学系研究科	高血圧による炎症誘導メカニズムの解明及びその心肥大における役割の検討
平田 歩	大阪大学大学院医学系研究科	メタボリックシンドロームの発症解明機構と治療医学
藤生 克仁	東京大学大学院医学系研究科	炎症細胞による心臓恒常性維持機構の解明
堀江 貴裕	京都大学医学部附属病院	MicroRNA-33 deficiency reduces atherosclerosis formation in vivo
松田 友和	神戸大学大学院医学研究科	膵 β 細胞における小胞体ストレスの役割
宮下 和季	慶應義塾大学医学部	内分泌因子によるミトコンドリア活性化を応用した新しい運動療法の開発
脇 裕典	東京大学大学院医学系研究科	脂肪細胞分化におけるクロマチン構造変化とエピゲノム制御の役割

平成25年度 若手研究助成事業
Vascular Biology Innovation に関する研究助成
22件 総額 1,050万円

(五十音順 敬称略 申請時所属)

申請者	所属	研究課題
赤木 達	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	PGI2封入ナノ粒子を用いた新規肺高血圧治療に関する研究
芦塚 伸也	宮崎大学医学部	難治性潰瘍性大腸炎に対するアドレノメデュリン持続静注療法
阿部 弘太郎	九州大学大学院医学研究院	トロンビン受容体を標的とした新たな肺高血圧治療ストラテジーの確立
伊東 史子	東京薬科大学	生体血管におけるTGF- β シグナルの役割
稲田 明理	九州大学大学院医学研究院	膵臓 β 細胞の新生
井上 和彦	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	メトホルミンによる血管保護作用の解明
岩波 純	愛媛大学大学院医学系研究科	脳血管疾患におけるレニン-アンジオテンシン系の解明
小川 愛子	国立病院機構岡山医療センター	慢性血栓塞栓性肺高血圧症の肺血管リモデリングにおけるthrombinの重要性
狩野 光伸	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	ナノサイズの物体の体内挙動と疾患治療効果
櫛山 暁史	朝日生命成人病研究所	食事成分が関与する血管障害の機序
嶋野 祐之	名古屋大学大学院医学系研究科	新規心筋由来分泌因子 follistatin-like 1 の虚血再灌流モデルにおける役割
関 倫久	慶應義塾大学医学部	心室/心房中隔欠損症患者由来のiPS細胞を用いた疾患発症メカニズムの解析
瀬口 理	国立循環器病研究センター	心臓型MLCKと心不全、心筋症との関わり
遠山 周吾	慶應義塾大学医学部	ESおよびiPS細胞における未分化細胞除去法および心筋精製法
得能 智武	九州大学大学院医学研究院	心血管疾患における低酸素応答系の役割
内藤 篤彦	東京大学医学部附属病院	補体分子C1qによるWntシグナル活性化と老化誘導
野村 征太郎	東京大学大学院医学系研究科	心筋細胞分化におけるシグナルと転写ネットワークの相互作用によるエピゲノム改変機構
肥後 友彰	大阪大学医学部医学系研究科	心筋細胞におけるDNA損傷が心不全発症・進展に及ぼす影響およびその分子機構の解明
藤田 恵	東京大学大学院医学系研究科	メタボリックシンドロームにおける昇圧機序：肥満と食塩による中枢性交感神経活動亢進経活動亢進
松島 将士	北海道大学病院	心虚血再灌流におけるNADPH oxidaseの役割
山崎 大樹	京都大学学際融合教育研究推進センター	平滑筋特異的TRIC-A過剰発現による血管弛緩機構
湯浅 慎介	慶應義塾大学医学部	G-CSF influences mouse skeletal muscle regeneration thorough supporting satellite cell population

平成25年度 若手研究助成事業
 全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成
 10件 総額 1,000万円

(五十音順 敬称略 申請時所属)

申請者	所属	研究課題
飯野 志郎	福井大学医学部	Th17細胞やIL-17Aを標的とした全身性強皮症の治療の開発
栗野 嘉弘	東京大学医学部附属病院	全身性強皮症におけるシグナル伝達分子による炎症細胞浸潤制御の解明
神人 正寿	熊本大学大学院生命科学研究部	病変部皮膚由来iPS細胞を用いた強皮症の病態解明に関する研究
筋野 智久	北里研究所病院	炎症性腸疾患におけるT細胞の可塑性についての検討
鈴木 潤	東京医科大学	細胞エネルギー代謝経路AMPK制御を応用した実験的自己免疫性ぶどう膜炎の治療薬の開発
水内 一臣	北海道大学大学院医学研究科	ベーチェット病におけるインフリキシマブのトラフ値と眼炎症発作との関連
水谷 知裕	東京医科歯科大学	小腸上皮細胞を用いた上皮移植技術の確立
水野 慎大	慶應義塾大学医学部	ILCを標的として粘膜治癒を誘導する炎症性腸疾患の新規治療法開発
目黒 明	横浜市立大学医学部	Imputation法を利用したゲノムワイド関連解析によるベーチェット病の遺伝要因の解明
吉野 琢哉	京都大学医学部附属病院	炎症性腸疾患（IBD）における新規治療標的分子の探索

平成25年度 若手研究助成事業

Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成

26件 総額 1,300万円

(五十音順 敬称略 申請時所属)

申請者	所属	研究課題
岩部 真人	東京大学大学院医学系研究科	アディポネクチン受容体を介する運動模倣効果の検討
川崎 修二	熊本大学医学部附属病院	肥満・糖尿病におけるメタプロテアーゼの制御および役割
後藤 剛	京都大学学際融合教育研究推進センター	イソプレノイド関連物質による脂肪細胞の代謝調節機構の解析
小林 正稔	東京大学医学部附属病院	Wilms' tumor 1-associating protein抑制による抗肥満・糖尿病作用の解明
小林 祥子	大阪大学大学院医学系研究科	血管および脂肪組織由来新規分泌因子Favineの機能解析
小宮 幸次	順天堂大学大学院医学研究科	糖尿病発症におけるヒト膵島アミロイド蛋白とオートファジーの相互作用の解明
近藤 慶子	滋賀医科大学	栄養学的アプローチによる血管機能改善に関わる因子の同定
近藤 基之	滋賀医科大学	リポファジーが飢餓応答へ果たす役割
笹子 敬洋	東京大学大学院医学系研究科	新規小胞体ストレス調節因子Sdf211による肝臓での糖脂質代謝調節作用の検討
佐藤 雄大	秋田大学大学院医学系研究科	GLP-1は、肺傷害時の修復過程に関与する
清水 辰徳	秋田大学大学院医学系研究科	精巣におけるGIPシグナルの低下は肥満・糖尿病における男性不妊をおこす
白川 純	横浜市立大学医学研究科	グルコースシグナルを介した膵β細胞の小胞体ストレス制御メカニズムの解明
瀬ノ口 隆文	熊本大学大学院生命科学研究部	糖尿病発症における単球・マクロファージインスリンシグナルの病態生理学的意義の解明
大徳 浩照	筑波大学大学院生命環境系	線虫を用いた転写因子FOXO1の翻訳後修飾制御機構のin vivo解析
高本 偉碩	東京大学大学院医学系研究科	2型糖尿病感受性遺伝子Tcf712が膵β細胞で担う役割の解明
瀧川 章子	富山大学附属病院	脂肪組織におけるマクロファージの役割に関する研究
田中 都	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	病原体センサー・内因性リガンド系によるメタボリック症候群の新たな分子機構の解明
田中 大祐	京都大学大学院医学研究科	全エクソンシーケンスを用いた日本人新規糖尿病発症原因遺伝子の同定
土持 若葉	宮崎大学医学部	消化管由来ペプチドの中核への情報伝達機構の解明
中村 昭伸	北海道大学大学院医学研究科	高脂肪食負荷NASH・肝腫瘍形成モデルマウスから得られた知見の臨床応用への展開
藤島 裕也	大阪大学大学院医学系研究科	アディポネクチンの組織修復機構の解明
藤田 義人	京都大学大学院医学研究科	テトラヒドロピオブテリンおよびその合成酵素GTP cyclohydrolase Iの糖尿病発症メカニズムへの関与の解明、およびそれらを標的とした糖尿病治療方法の開発

松坂 賢	筑波大学 医学医療系	脂肪酸伸長酵素Elovl6の糖尿病における役割およびその治療応用に関する研究
三田 智也	順天堂大学大学院	血管平滑筋細胞におけるオートファジーの役割
三原 正朋	東京医科歯科大学医学部附属病院	肥満・糖尿病における血液凝固能亢進の病態生理的意義の解明
柳 重久	宮崎大学医学部	消化管由来ペプチドによる神経を介した摂食調節の分子基盤の解明